



各種プール・水槽塗装システム

パーミクロン PL工法

日塗化学株式会社

プールおよび水槽の長期保護と美観をめざして

パーミクロンPL工法は悪環境下施設の重防食塗料分野(パーミクロン)での

長年の経験と技術をもとに開発した、

各種プール・水槽用のエポキシ樹脂・ウレタン樹脂系塗装システムです。

これまで20年以上にわたり多くの使用実績がございますが、

さらに各種プール及び水槽の長期保護と美観をめざして、新たにリニューアルいたしました。

◎使用商品一覧

可使時間と硬化時間はともに23℃時

商品名	用途	組成種別	色相	可使時間	硬化時間	荷姿(セット)
パーミクロンPLコート	プール、各種水槽下塗り	エポキシ樹脂	各色	1時間	16時間	18kg・4kg
パーミクロンPLトップAU	プール、各種水槽上塗り	ウレタン樹脂	各色	5時間	18時間	18kg・3kg
パーミクロンCM	コンクリート用素地調整	水系エポキシ樹脂	グレー	2時間	24時間	18kg
パーミクロンPLプライマー	ステンレス・アルミ用プライマー	エポキシ樹脂	クリアー	2時間	16時間	14kg・3kg
BOプライマー#1	コンクリート用プライマー*	エポキシ樹脂	クリアー	2時間	16時間	14kg・3kg
BOメジコン#10	クラック補修	エポキシ樹脂	グレー	45分	12時間	20kg・10kg・5kg
BOメジコン#30	クラック補修	エポキシ樹脂	グレー	30分	16時間	10kg・5kg
BOメジコン#301	クラック注入補修	エポキシ樹脂	クリアー	50分	16時間	6kg
BOメジコン#309	浮き注入接着	エポキシ樹脂	淡黄色	70分	24時間	6kg

*プールサイドに適用、水槽内での使用時はパーミクロンCMの上に限る

◎性状

商品名	色・外観	混合比 (重量)	密度 (g/cm ³)	加熱残分 (%)	可使時間 (時間/100g)	硬化時間(時間)		
						温度	指触	半硬化
〈下塗〉 パーミクロンPLコート	主 剤 ライトブルー スカイブルー 白 他 液状	4 : 1	1.31 (23℃)	82	10℃ 2	10℃	8	20
					23℃ 1	23℃	4	16
	硬化剤 透明液状				30℃ 0.75	30℃	2	10
〈上塗〉 パーミクロンPLトップAU	主 剤 ライトブルー スカイブルー 他 液状	5 : 1	1.18 (23℃)	61	10℃ 8	10℃	1.5	24
					23℃ 6	23℃	1	16
	硬化剤 透明液状				30℃ 3	30℃	0.5	12

◎パーミクロンPL工法性能試験

試験項目	試験方法	試験結果	
付着強度	建研式試験機 (MPa)	コンクリート板	1.5以上(コンクリート破断)
		アルミ板	3.0以上
		ステンレス板	3.0以上
		プラスト鋼板	3.0以上
光沢	60度鏡面反射率	90以上	
耐衝撃性	JISK5600-5-3 デュボン式1.27cm 500g 50cm	合格	
耐屈曲性	JISK5600-5-1 φ4mm	合格	
耐水性	水道水 常温2ヵ年	異常なし	
耐塩水性	5%食塩水 常温2ヵ年	異常なし	
促進耐候性	キセノンウェザーメーター 500時間	異常なし	
耐薬品性	10%次亜塩素酸ソーダ 1週間	異常なし	
耐候性	(SWOM) 600時間	異常なし	

◎標準色



〈ライトブルー〉



〈スカイブルー〉


※現物とは多少色が異なる場合がありますのでご了承ください。

※標準施工仕様による性能

パーミクロンPL工法の特長

- ① 耐水性、耐候性に優れています。
- ② 各種駆体の付着性に優れています。(コンクリート・ステンレス・アルミ・鉄)
- ③ ハイビルドタイプで可とう性に優れています。
- ④ 耐摩耗性、耐衝撃性に優れています。
- ⑤ 厚生労働省令第15号による浸出試験品質規定適合品

◎パーミクロンPLトップAU 試験検査成績書



水第M01718-3号
2023年3月17日

試験検査成績書

日産化学株式会社 様

一般社団法人東京都食品衛生協会
東京食品技術研究所
〒173-0002 東京都板橋区東原 1-19-10

ご依頼の試験品の試験検査結果は以下のとおりです。

受付日	2022年12月8日
試験品	パーミクロンPLトップAU
検査内容	JWWA Z 108 : 2016 7.1.2 塗層用材料 (溶剤含有製品) による浸出試験 (水道施設の技術的基準を定める省令、平成12年2月23日厚生省令第15号(令和2年3月25日改正 厚生労働省令第38号) 別表第二の検査項目を含む) コンディショニングあり

試験検査結果

別紙のとおり

—以下余白—

*本成績書を転載する場合は出研研究所の承認を受けてください。

項目	単位	品質基準	分析方法	検出基準
五フッ素及びその化合物	mg/L	0.003未満	別表第10(FC-MMS法)	0.003以下
水銀及びその化合物	mg/L	0.0004未満	別表第11	0.0004以下
セレン及びその化合物	mg/L	0.01未満	別表第12(原子吸光光度法)	0.01以下
鉛及びその化合物	mg/L	0.01未満	別表第13(ICP-MS法)	0.01以下
七酸化鉛及びその化合物	mg/L	0.01未満	別表第14(ICP-MS法)	0.01以下
六価クロム化合物	mg/L	0.002未満	別表第15(ICP-MS法)	0.002以下
亜硝酸根イオン	mg/L	0.05未満	別表第16(DC法)	0.004以下
シアン化物イオン及びその化合物	mg/L	0.01未満	別表第17(FC-UV法)	0.01以下
銅酸根イオン及びその化合物	mg/L	0.05未満	別表第18(ICP)	0.05以下
アスベスト及びその化合物	mg/L	0.1未満	別表第19(ICP-MS法)	0.1以下
コウ素及びその化合物	mg/L	0.002未満	別表第20(ICP-MS法)	0.002以下
有機化炭素	mg/L	0.005未満	別表第21(ICP-MS法)	0.004以下
1,4-ジオキサン	mg/L	0.0004未満	別表第22(ICP-MS法)	0.0004以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.004未満	別表第23(ICP-MS法)	0.004以下
シクロヘキサジエン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.003未満	別表第24(ICP-MS法)	0.003以下
シクロヘキサトリエン	mg/L	0.001未満	別表第25(ICP-MS法)	0.001以下
1,3-ジクロロベンゼン	mg/L	0.001未満	別表第26(ICP-MS法)	0.001以下
ベンゼン	mg/L	0.001未満	別表第27(ICP-MS法)	0.001以下
1,4-ジオキサン	mg/L	0.0004未満	別表第28	0.0004以下
亜鉛及びその化合物	mg/L	0.01未満	別表第29(ICP-MS法)	0.01以下
アセチル鉛及びその化合物	mg/L	0.02未満	別表第30(ICP-MS法)	0.02以下
鉛及びその化合物	mg/L	0.01未満	別表第31(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン及びその化合物	mg/L	0.01未満	別表第32(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第33(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第34(ICP-MS法)	0.01以下
鉛イオン親和性物質	mg/L	0.002未満	別表第35(200nm紫外分光)	0.002以下
鉛イオン親和性物質	mg/L	0.002未満	別表第36(200nm紫外分光)	0.002以下
フェノール類	mg/L	0.0005未満	別表第37	0.0005以下
有機鉛(鉛含有率 (TCC) の値)	mg/L	0.03未満	別表第38(有機鉛含有率検査)	0.03以下
臭気	—	臭気なし	別表第39(臭気)	臭気でないこと
色度	—	色度なし	別表第40(色度)	臭気でないこと
濁度	—	濁度なし	別表第41(濁度)	臭気でないこと
有機物(全有機炭素(TOC)の値)	mg/L	0.02未満	別表第42(有機物)	0.02以下
シクロヘキサジエン	mg/L	0.01未満	別表第43(ICP-MS法)	0.01以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.01未満	別表第44(ICP-MS法)	0.01以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.002未満	別表第45(ICP-MS法)	0.002以下
2,2,4-トリメチルペンタジエン	mg/L	0.001未満	別表第46(ICP-MS法)	0.001以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第47(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第48(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第49(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第50(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第51(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第52(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第53(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第54(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第55(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第56(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第57(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第58(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第59(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第60(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第61(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第62(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第63(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第64(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第65(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第66(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第67(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第68(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第69(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第70(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第71(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第72(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第73(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第74(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第75(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第76(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第77(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第78(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第79(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第80(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第81(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第82(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第83(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第84(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第85(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第86(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第87(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第88(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第89(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第90(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第91(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第92(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第93(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第94(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第95(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第96(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第97(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第98(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第99(ICP-MS法)	0.01以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満	別表第100(ICP-MS法)	0.01以下

■コンクリートプール(水槽)

下地処理

新設

- ディスクサンダー、パワーブラシ等を用いて、コンクリート表面の汚れ及びレイトンスその他の付着物を除去してください。
- コンクリート面の清掃及び乾燥を十分に行ってください。

塗替

- ディスクサンダー等の電力工具を用いて旧塗膜を全部剥がしてコンクリート素地をだし、その後十分に水洗い洗浄を行ってください。
- 旧塗膜を残す場合は、以前塗装した塗料の種類を確認し、密着に問題ないことを確認の上、活膜である場合に限り重ね塗り可能です。
その場合は塗装面を十分に目荒しして洗浄・乾燥させてください。
- 下地コンクリートの劣化部は、ポリマーセメントにて修復してください。
- 大きなひび割れ箇所はUカットしてBOメジコン#10にて処理を行ってください。
- 小さなひび割れや下地の不陸調整はBOメジコン#30にて処理を行ってください。

◎標準施工仕様

工程	商品名	標準使用量 (kg/m ²)	膜厚 (μm)	施工方法	希釈率	施工間隔 (23℃)
素地調整	パーミクロンCM	0.50~1.00 (注1)	—	刷毛 ローラー リシガン	水 (0%~5%)	24時間以上
				コテ	希釈なし	
下塗	パーミクロンPLコート	0.16	60	刷毛 ローラー	BOシンナーE (0%~10%)	16時間~7日
上塗①	パーミクロンPLトップAU	0.15	30	刷毛 ローラー	BOシンナーU ローラー用 (10%~20%)	
上塗②	パーミクロンPLトップAU	0.15	30	刷毛 ローラー	BOシンナーU ローラー用 (10%~20%)	18時間~3日

◎ガラスクロス1プライ積層施工仕様

工程	商品名	標準使用量 (kg/m ²)	膜厚 (μm)	施工方法	希釈率	施工間隔 (23℃)
素地調整	パーミクロンCM	0.50~1.00 (注1)	—	刷毛 ローラー リシガン	水 (0%~5%)	24時間以上
				コテ	希釈なし	
下塗① (補強層)	パーミクロンPLコート	0.35	400	ローラー 脱泡ローラー	BOシンナーE (0%~10%)	直ちに
	ガラスクロスEPF21A	1.10m ² /m ²			—	直ちに
	パーミクロンPLコート	0.35			BOシンナーE (0%~10%)	16時間~7日
下塗②	パーミクロンPLコート	0.35	130	刷毛 ローラー	BOシンナーE (0%~10%)	16時間~3日
上塗①	パーミクロンPLトップAU	0.15	30	刷毛 ローラー	BOシンナーU ローラー用 (10%~20%)	16時間~3日
上塗②	パーミクロンPLトップAU	0.15	30	刷毛 ローラー	BOシンナーU ローラー用 (10%~20%)	16時間~3日

(注1) コンクリートの素地の状況により使用量が変動いたします。
 (注2) エアレス塗装の場合は、上記使用量の1.3倍程度の使用量になります。
 (注3) 階段部分や天端部分は転倒防止のため防滑仕上げをお勧めいたします。その場合は、下塗り塗装後直ちに珪砂6~7号を500g/㎡撒布してください。
 (注4) ライン塗装が必要な場合は、上記塗装仕様後さらにパーミクロンPLトップAUを1~2回塗装してください。
 (注5) 施工完了後10日以上養生期間をとってください。

■ どうしてパーミクロンCMで素地調整しないといけないの？

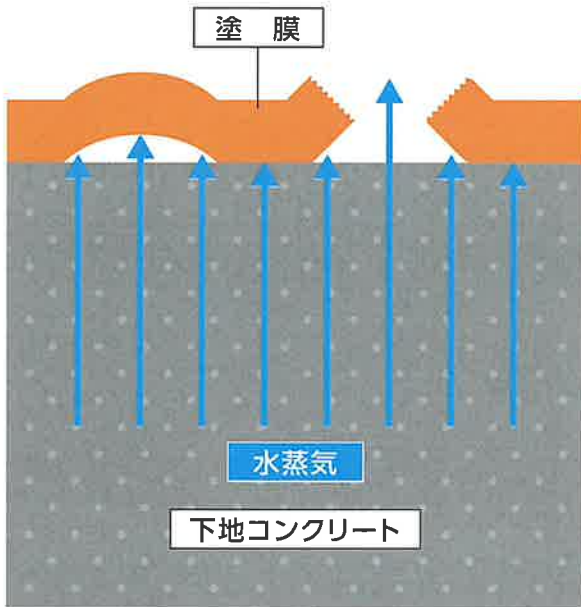
コンクリート躯体に塗料を直接塗装すると、躯体の中に含まれる水蒸気が塗膜を持ち上げようとし、内面からの圧力に接着力が耐え切れず塗膜の膨れが発生します。特にプールや水槽などの躯体は常時水に没水状態にあるため、その作用を大きく受けやすい環境にあります。

パーミクロンCMの塗膜の層は空隙の多い状態になっており、コンクリート躯体から上がってくる水蒸気の圧力は層の中で分散し、直接塗膜に圧力がかかりにくくなります。このパーミクロンCMの作用が塗膜膨れの軽減に役立っているため、ビーオーケミカルはパーミクロンCMで素地調整することを推奨しております。

■ パーミクロンCM膨れ防止構造

パーミクロンCMを塗布しない場合

コンクリート躯体に直接塗装するとコンクリート躯体から上がってきた水蒸気が直接、塗膜を持ち上げようと圧力が加わります。その圧力に接着力が耐え切れず塗膜の膨れが発生します。



パーミクロンCMを塗布した場合

パーミクロンCMの塗膜の層は空隙の多い状態になっており、コンクリート躯体から上がってくる水蒸気の圧力は層の中で分散し、直接、塗膜に圧力がかかりにくくなります。このパーミクロンCMの作用が塗膜膨れの軽減に役立っています。



(注意)コンクリート躯体が古かったり水を多く含む環境ではパーミクロンCMの層内に水分が取りきれず塗膜表面が膨れる可能性があります。その場合は脱気盤を設置して頂くと膨れの軽減が図れます。



■ステンレス・アルミプール(水槽)

下地処理

新設

- 塗装部分をディスクサンダー(ダイヤカップ及び目の粗いサンドペーパー)を用いて**塗装面全体**に手で触って引っ掛かりが確認できる程度に目荒ししてください。その後十分に水洗い洗浄・乾燥をさせてください。洗浄ができない場合はシンナー拭きを行い塗装面を清掃してください。

塗替

- 旧塗膜は動力工具及び剥離剤を用いて全て撤去してください。清掃・洗浄後にディスクサンダー(ダイヤカップ及び目の粗いサンドペーパー)を用いて**塗装面全体**に手で触って引っ掛かりが確認できる程度に目荒ししてください。
油分、ステンレス(アルミ)研磨粉等は水洗い、シンナーにて十分に拭き取ってください。

◎標準施工仕様

工程	商品名	標準使用量 (kg/m ²)	膜厚 (μm)	施工方法	希釈率	施工間隔 (23℃)
プライマー	パーミクロンPLプライマー	0.10	—	刷毛 ローラー	BOシンナーE (0%~10%)	1時間~2日
下塗	パーミクロンPLコート	0.16	60	刷毛 ローラー	BOシンナーE (0%~10%)	
上塗①	パーミクロンPLトップAU	0.15	30	刷毛 ローラー	BOシンナーU ローラー用 (10%~20%)	16時間~3日
上塗②	パーミクロンPLトップAU	0.15	30	刷毛 ローラー	BOシンナーU ローラー用 (10%~20%)	18時間~3日

(注1)エアレス塗装の場合は、上記使用量の1.3倍程度の使用量になります。

(注2)階段部分や天端部分は転倒防止のため防滑仕上げをお勧めいたします。その場合は、下塗り塗装後直ちに珪砂6~7号を500g/m²撒布してください。

(注3)高耐久性仕様のガラスクロス1プライ積層仕様の場合は、別途ご相談ください。

(注4)施工完了後10日以上養生期間をとってください。

プールサイド

◎標準施工仕様

下地処理

- コンクリート表面のレイタンス、セメントノロ、汚れ及びその他の付着物を除去してください。
- 型枠の段違い、ジャンカ素穴等の箇所はサンダー処理及びパテ処理を行ってください。
- コンクリート表面の清掃及び乾燥を十分に行ってください。

工程	商品名	標準使用量 (kg/m ²)	膜厚 (μm)	施工方法	希釈率	施工間隔 (23℃)
プライマー	BOプライマー#1	0.15	—	刷毛 ローラー	BOシンナーE (0%~10%)	1時間~2日
下塗	パーミクロンPLコート	0.16	60	刷毛 ローラー	BOシンナーE (0%~10%)	
珪砂撒布	珪砂6~7号	0.50	—	手撒き	—	直ちに
上塗	パーミクロンPLトップAU	0.20	40	刷毛 ローラー	BOシンナーU ローラー用 (10%~20%)	16時間~3日

(注1)エアレス塗装の場合は、上記使用量の1.3倍程度の使用量になります。

■鉄製プール(水槽)

下地処理

新設

- ブラスト処理でミルスケールを完全に除去し、鋼材面を露出させてください。
油分、鉄分、砂等は十分に拭き取ってください。

塗替

- 旧塗膜の脆弱部分は動力工具を用いて、2種ケレン以上の処理をしてください。
活膜部分は、以前塗装した塗料の種類を確認し密着に問題ないことを確認した場合のみ重ね塗り可能です。その場合も塗装面を十分に目荒して、清掃及び乾燥を十分に行ってください。

◎標準施工仕様

工程	商品名	標準使用量 (kg/m ²)	膜厚 (μm)	施工方法	希釈率	施工間隔 (23℃)
下塗①	パーミクロンPLコート	0.16	60	刷毛 ローラー	BOシンナーE (0%~10%)	16時間~7日
下塗②	パーミクロンPLコート	0.16	60	刷毛 ローラー	BOシンナーE (0%~10%)	
上塗①	パーミクロンPLトップAU	0.15	30	刷毛 ローラー	BOシンナーU ローラー用 (10%~20%)	16時間~3日
上塗②	パーミクロンPLトップAU	0.15	30	刷毛 ローラー	BOシンナーU ローラー用 (10%~20%)	18時間~3日

(注1)エアレス塗装の場合は、上記使用量の1.3倍程度の使用量になります。

(注2)階段部分や天端部分は転倒防止のため防滑仕上げをお勧めいたします。その場合は、下塗り②塗装後直ちに珪砂6~7号を500g/m²撒布してください。

(注3)高耐久性仕様のガラスクロス1プライ積層仕様の場合は、別途ご相談ください。

(注4)施工完了後10日以上養生期間をとってください。

◎ウレタンチップ施工仕様

下地処理

- コンクリート表面のレイトンス、セメントノロ、汚れ及びその他の付着物を除去してください。
- 型枠の段違い、ジャンカ素穴等の箇所はサンダー処理及びパテ処理を行ってください。
- コンクリート表面の清掃及び乾燥を十分に行ってください。

工程	商品名	標準使用量 (kg/m ²)	膜厚 (μm)	施工方法	希釈率	施工間隔 (23℃)
プライマー	BOプライマー#1	0.15	—	刷毛 ローラー	BOシンナーE (0%~10%)	1時間~2日
下塗	パーミクロンPLコート	0.16	60	刷毛 ローラー	BOシンナーE (0%~10%)	
上塗	パーミクロンPLトップAU エストップ#20	0.20 0.02	—	エアレス	BOシンナーU (10%~20%)	16時間~3日

(注1)プライマー、下塗をエアレス塗装で行う場合は、上記使用量の1.3倍程度の使用量になります。

(注2)エストップ#20は上塗材に10%の割合で配合してください。

(注3)パテ処理はBOメジコン#30等を使用してください。

プールの保守管理

パーミクロンPL工法が施工されているプールの保守・管理については、性能低下を防ぐ為に、下記の事項を厳守して下さい。

使用時のお願い

石、ガラス等の投げ入れによるキズ、ホコリ等による汚れから『パーミクロンPL工法』を守る為に年間を通じて**常時満水**にしておいて下さい。

清掃のポイント

プールの清掃をする際は**軟らかいブラシ**を使用して下さい。硬いものを使用すると塗装面を傷つけます。プール内は、ゴム靴か素足で清掃してください。

殺菌・消毒剤 使用について

殺菌・消毒剤のプールへの投入方法は次亜塩素酸ナトリウム液(有効塩素5~10%)を濾過装置に直結された殺菌機によって定量注入する方法と、固形の塩素剤を直接プールに投入する方法がありますが、次亜塩素酸ナトリウム液の濃度が規定値より高い状態のまま長時間使用し続けたり、固形の塩素剤を事前に溶かさずに直接投入した場合、塗装面が白く変色したり剥離することがありますのでご注意ください。

取り扱い上の注意

1. 取り扱い作業場所には、局所換気装置を設けて下さい。
2. 取り扱い中・乾燥中ともに換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
3. 取り扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスクを付け、頭に頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・作業手袋等を着用して下さい。
4. 取り扱い後は、手洗い、うがい及び鼻孔洗浄を十分に行ってください。
5. 塗料及び接着剤の付着したウエスや塗料カス・スプレードスト等は、廃棄するまでは必ず水に浸けておいて下さい。
6. 直射日光のあたる場所・湿気の高い場所を避け、よくフタをし、40℃以下の一定の場所を定めて保管して下さい。
7. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
8. 塗料及び接着剤の残品・容器等を洗浄した廃液等は、産業廃棄物として処分して下さい。
9. 指定された以外の材料と混合しないで下さい。

緊急時の処置

1. 目に入った場合には、多量の水で洗いできるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
 2. 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
 3. 皮膚に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みや皮膚に変化がある時には医師の診察を受けて下さい。
 4. 蒸気・ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
 5. 容器からこぼれた場合には、布でふき取り、その布を水の入った容器に保管して下さい。
- ※ 詳細内容が必要なおときには安全データシート(SDS)をご参照下さい。

■本カタログに記載以外の条件で使用される場合には、弊社にお問い合わせ下さい。

■本製品の内容は予告なく変更することがあります。



西日本営業所 〒811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3丁目10番5号
TEL.092-938-6645 / FAX.092-938-7571
本 社 〒105-0014 東京都港区芝1-6-10 芝SIAビル6F

販売店・お問い合わせ